

長野県とサントリーホールディングス株式会社との 包括連携協定の締結について

SDGs 未来都市である長野県は、「しあわせ信州創造プラン 2.0」に基づき「学びと自治の力」を政策推進のエンジンに、誰一人取り残さない持続可能な社会の実現に向け取組を進めています。

サントリーホールディングス株式会社（以下「サントリー」）は、「人と自然と響きあう」を使命に掲げ、最高品質の商品・サービスをお届けすることで人々の豊かな生活文化に貢献すると同時に、多様性ある社会や美しい地球環境との共生を常に念頭に置き、持続可能な社会の実現を目指しています。

この度、長野県とサントリーは、“しあわせ信州”と“人と自然と響きあう”というそれぞれの理念に共感し、持続的な自然環境の実現と地域社会の発展を目指して、包括連携協定を締結します。

1 サントリーホールディングス株式会社について

社名（商号）	サントリーホールディングス株式会社
事業内容	グループ全体の経営戦略の策定・推進、およびコーポレート機能
本店所在地	本社（大阪オフィス）〒530-8203 大阪市北区堂島浜 2-1-40 サントリーワールドヘッドクォーターズ 〒135-8631 東京都港区台場 2-3-3
代表者	代表取締役会長 佐治 信忠 代表取締役社長 新浪 剛史
売上高	21,083 億円（酒税控除後）
従業員数	40,044 名
グループ会社	303 社

※いずれも 2020 年 12 月 31 日現在

2 協定の特徴

協定コンセプト「共創」：双方の持つ強みを活かし、新たな価値を創造していく

（1）「人と自然と響きあう」サントリーと「しあわせ信州」の理念の合致

SDGs 未来都市としてゼロカーボン社会を率先して目指す「しあわせ信州」長野県と、「人と自然と響きあう」を使命としているサントリーは、その通底する理念が一致。同じ未来を見据えて、社会、環境、経済にそれぞれ連携して貢献しながら、類まれな自然環境を次世代に引き継いでいくための取組を深めることが期待できる。

（2）北アルプス地域をはじめとした具体的な取組の推進

協定締結のきっかけともなったサントリー天然水 北アルプス信濃の森工場（大町市）を中心に、環境教育やペットボトルの水平リサイクルなどの取組が進んでおり、また塩尻市にはサントリー塩尻ワイナリーが立地していることから、県とサントリー双方においてフィールドを伴った具体的な取組の展開が期待できる。

3 協定項目及び協定に基づいて実施する事業（案）

協定項目	具体的取組(案)
<p>(1)水源涵養力の高い 森林環境づくり</p> 	<p>「森と水」を軸とした取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林（もり）の里親制度による森林整備支援 ・森や水に関する研究・交流
<p>(2)「水」や「農産物」の 新たな利活用とブランディング</p> 	<p>サントリーと長野の相互のブランドと商品力を活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「水」をキーにしたブランディングへの取組 ・サントリーのワインぶどう栽培、ワイン造りと連携した県内ワイン振興 ・“地元の水”の「おいしさの体験機会」の創出 ・「サントリー天然水〈北アルプス〉」をふるさと信州寄付金返礼品として活用
<p>(3)環境保全と次世代への啓発 及び循環型社会の形成</p> 	<p>環境を守り次世代に引き継ぐ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サントリー天然水 北アルプス信濃の森工場のゼロカーボン・DXの先進的取組を共同して発信 ・「水育」などの環境教育コンテンツを信州環境カレッジ等で展開 ・信州で学ぶ「未来の森づくり」プロジェクトの実施 ・「信州 山の日」の発信と取組の拡大
<p>(4)地域の活性化に向けた 魅力拡大</p> 	<p>県内地域資源の磨き上げと活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サントリー天然水 北アルプス信濃の森工場での魅力発信 ・サイクルツーリズムの拠点整備 ・「ワイン」をキーにした地域振興への取組の検討 ・地域の魅力向上に向けた資産のブランド化に関する検討
<p>(5) その他、本協定の目的を達成するために必要な事項に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サントリーの先進的な働き方改革の発信 など 	

4 協定の締結状況

長野県による包括連携協定として、企業では **30** 件目。食品・飲料メーカーでは **4** 件目。その他、大学や各種団体との協定を合わせると **43** 件目（県警除く）。